



第2回 吃音グループ学習会

11月6日(水)に吃音がある子供たちを対象に、今年度2回目のグループ学習を行いました。2年生から6年生まで全員で8名の子供たちが参加しました。久しぶりの会でしたが、話を聞いたり、楽しくゲームしたりすることができました。

今回は筑波大学で吃音について研究をされている飯村大智先生をゲストティーチャーとしてお迎えしての活動でした。飯村先生からはご自身も吃音があるとお話がありました。そして子供の頃、どのような夢を持っていたか(仕事をしたいと思っていたか)、今の仕事を目指すきっかけとなったことなど、ご自身の経験をお話してくださいました。初めて会う先生でしたが、みんな熱心に話を聞いていました。お話の後に行った質問・感想タイムでは、将来についての質問や感想が出されました。

交流遊びでは、みんなで一つの輪になってフラフープをくぐり抜けながら送るゲームを行いました。ルールは1分間に何人くぐれるかというものです。どうしたら速くフラフープを回せるか、意見を出し合いました。新記録が出たときにはみんな大変喜んでいました。

終了後の感想シートには、飯村先生のお話について「将来のためになる話だった」「安心した」「仕事のことが聞いて良かった」「心配していたことがわかった」などの感想が書かれました。



年末年始 季節の行事

冬休みが近づいてきています。冬休みには新年を迎えます。新年の前には、1年の終わりの日である大晦日があります。大晦日は新年を迎えるためにもっとも重要な節目の日とされているため、さまざまな習わしがあります。年末にかわされる「今年もお世話になりました」「よいお年をお迎えください」というあいさつもそのひとつになります。

今回はそんな年末の大晦日について「年越しそば」と「除夜の鐘」を紹介します。

年越しそば

大晦日の夜に食べるそばです。
「長い食べ物であるそばは長寿につながる」
「一年の苦勞を切り捨てる」
「金運があがる」など言い伝えがあります。近年ではそばの代わりにうどんを食べるお家もあるようです。



除夜の鐘

「除夜」とは大晦日の夜という意味です。お寺で108回鐘をついて、新年を迎えます。108というのは人間の煩惱(悩みや迷いの心)の数とされていて、それらを取り除くといわれています。

